

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	基礎演習 I		
担当者(Instructors)	今瀬 政司	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

(1) 大学の学習と生活の基本を理解し、自らその基本スタイルを実践する。(2) 将来の自分のあり方を考え、その実現のための計画を立案し、その実践結果を発信する。(3) 身近な地域の問題を理解し、仲間と協働して問題解決する力を獲得する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習方式で授業を行う。各授業では、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションを通じて、主体的な学びのスタイルを身につける。学生同士のコミュニケーションを通じて学習効果を高める。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	個人面談、大学の学び方、注意点確認	教員との個人面談を行います。大学での学び方と注意事項を確認します。	<input type="checkbox"/>
第2回	個人面談、学生生活のポイント、注意点の確認	教員との個人面談を行います。学生生活のポイントと注意点を確認します。	<input type="checkbox"/>
第3回	個人面談、将来を意識した4年間の学習計画の作成	教員との個人面談を行います。4年間の学習計画・目標などを文書にしてみましょう。	<input type="checkbox"/>
第4回	学長講話	学長から直接大学生の学びのポイントについて聞きます。	<input type="checkbox"/>
第5回	学術情報センターガイダンス	学術情報センターの利用方法を知ります。	<input type="checkbox"/>
第6回	各学科の学びを考える	「地域ビジネス学科」と「国際ビジネス学科」の学びについて考えます。	<input type="checkbox"/>
第7回	わが町の紹介	わが町の魅力的なことを発見し、紹介する準備をします。	<input type="checkbox"/>
第8回	基礎演習中間の振り返り	前期の中間ポイントです。これまでの学びを振り返ってみましょう。	<input type="checkbox"/>
第9回	先輩の活動体験を聞く	先輩の活動体験を聞いて、未来の自分を考えてみましょう。	<input type="checkbox"/>
第10回	学外地域訪問	わが町の魅力を再発見するために、学外の地域を訪問してみましょう。	<input type="checkbox"/>
第11回	交通安全教室	歩行者や運転者の立場で交通安全の知識を再確認してみましょう。	<input type="checkbox"/>
第12回	名東区の今を知る	これまでの活動をまとめて、地域の魅力を紹介してみましょう。	<input type="checkbox"/>
第13回	レポートの書き方	これまでの活動をレポートにまとめてみましょう。	<input type="checkbox"/>
第14回	レポート内容の点検及び期末試験の注意事項の確認	レポートを相互に点検し、内容を改善します。また間近に迫った期末試験に向けた注意事項を確認します。	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ	前期の授業内容を復習します。夏季休暇中の課題を計画します。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

基礎演習は主体的に積極的に参加することが重要です。授業を受ける前には、事前に指示された課題に取り組むこと(2時間程度)。また授業後に学習した内容をまとめること及び提出課題を作成すること(2時間程度)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

各回の授業で取り組んだ内容や課題について、次回の授業内でプレゼンテーションすること。またディスカッションすることを通じて相互にフィードバックを行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	学びの基礎となる社会、文化、自然等に関する知識を習得しながら専門知識を育み、それを活用することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	基礎学力を踏まえた専門知識と自らの経験を基に、創造的に考えたうえで、課題についての的確に判断し、自在に表現、発信することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	多様な人々の中で自己を理解し、主体的に他者と協働して問題を解決することができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		